

「日本肝胆膵外科学会 東北関東大震災 愛の手プロジェクト」のお知らせ

2011年3月11日に発生した「東北関東大震災」は地震と津波ならびに原子力発電関連の事故により未曾有の大惨事をもたらし、大変心を痛めております。

幸い、被災地の緊急医療支援はどうか回り始めましたが、問題は、病院施設そのものの被害も多く、さらに薬やインフラが不十分な施設が沢山あります。また、2次災害として停電や水不足などもあります。そのため、手術が必要とされているにも関わらず肝臓・胆道・膵臓癌など高難度の手術が行えない施設が多数存在します。

そこで、日本肝胆膵外科学会では、被災地への支援として「東北関東大震災 愛の手プロジェクト」を立ち上げました。

- (1) 全国的に、日本消化器外科学会の専門医制度指定修練施設で、かつ、肝臓・胆道・膵臓の高難度手術を多数行っている日本肝胆膵外科学会認定の修練施設に、高難度外科手術が予測される患者さんの受け入れが可能かどうかを大至急調査しました。
- (2) 受け入れ可能な修練施設を全国的に本学会会員に知らせるとともに、国民が知ることができるように、本学会ホームページで「肝胆膵高難度外科手術受け入れ可能な修練施設情報」を公開しました。(検索方法は、Googleなどの検索エンジンにて「日本肝胆膵外科学会」と入力いただきアクセスしてください)

本学会会員の皆さま、内科系医師の皆さま、国民の皆さまへ、

患者さまの苦しみ、命を救うために、手術が必要とされる肝臓・胆道・膵臓の外科的疾患を患っている患者さんの受け入れを現段階で可能で、かつ、高度の技能を有する病院施設として日本肝胆膵外科学会認定の修練施設をこのホームページでお知らせいたします。

ぜひとも、本学会ホームページの「肝胆膵高難度外科手術受け入れ可能な修練施設情報」にアクセスの上ご対応いただき、患者さんの命を守るためにご協力のほどお願いいたします。

平成23年4月吉日

日本肝胆膵外科学会理事長

高田忠敬 t.takada@jshbps.jp

事務局 info@jshbps.jp